

ニュークリアセーフティーネットワークの設立について

1999 年 11 月 12 日

電気事業連合会

1. 名 称

ニュークリアセーフティーネットワーク[略称：N S ネット]（仮称）

2. 設立目的および基本理念

原子力産業界全体の安全意識の高揚、モラルの向上および原子力の安全文化の共有化を図ることを目的として、全ての会員が、対等（イコール・パートナー）の立場で活動する。

3. 組 織

原子力産業に携わる各企業・団体の自主参加による民間主体の任意団体

本 部：東京都千代田区大手町 1－6－1 大手町ビル内

体 制：理 事 長 未定

事 務 局 設立時は 10 名程度。

設立時の会員（予定）：

【電 力 関 係】 電気事業連合会(電力 9 社)、日本原子力発電(株)、電源開発(株)、日本原燃(株)、原燃輸送(株)、レーザー濃縮技術研究組合

【燃料加工関係】 原子燃料工業(株)、三菱原子燃料(株)、日本ニュークリアフュエル(株)、三菱マテリアル(株)、住友金属鉱山(株)、(株)ジェー・シー・オー

【プラントメーカ関係】 (株)東芝、(株)日立製作所、三菱重工業(株)、三菱電機(株)、石川島播磨重工業(株)、富士電機(株)、住友原子力工業(株)、日本核燃料開発(株)、ニュークリア・デベロップメント(株)、(株)神戸製鋼所、日立造船(株)、三井造船(株)

【研 究 機 関】 核燃料サイクル開発機構、電力中央研究所、日本原子力研究所

4. 活動内容

活動内容は、「安全文化の普及」、「会員間の相互評価(ピアレビュー)」、「原子力安全に関する情報交換・発信」の 3 つの主要業務とする。

(1)安全文化の普及

N S ネット主催セミナーおよび関連諸団体(日本原子力産業会議、日本原子力文化振興財団、

日本原子力学会等)との共催セミナー等の開催、安全教育・研修会等の開催、ホームページの開設、パンフレット・定期刊行物の発行。

セミナー等での各社の安全文化普及に対する取り組み状況等の紹介。

(2)会員間の相互評価(ピアレビュー)

WANO(世界原子力発電事業者協会)の活動を参考に、2年程度で全会員の事業所を一巡することを目途にピアレビューを実施。評価分野は、当面は組織・運営、教育・訓練、放射線管理等を想定。レビュー結果は全会員で共有し、原子力安全文化の向上に貢献。

(3)情報交換・発信

電力中央研究所の既存システムを拡大し、国内原子力産業全体のトラブル情報等を共有化。また、ヒューマンファクターに関する電力中央研究所の研究成果を活用し、安全教育等を支援。

会員間のトラブル情報収集・分析、活用。

ヒューマンファクター分析応用事例、良好事例等の情報交換会の開催。

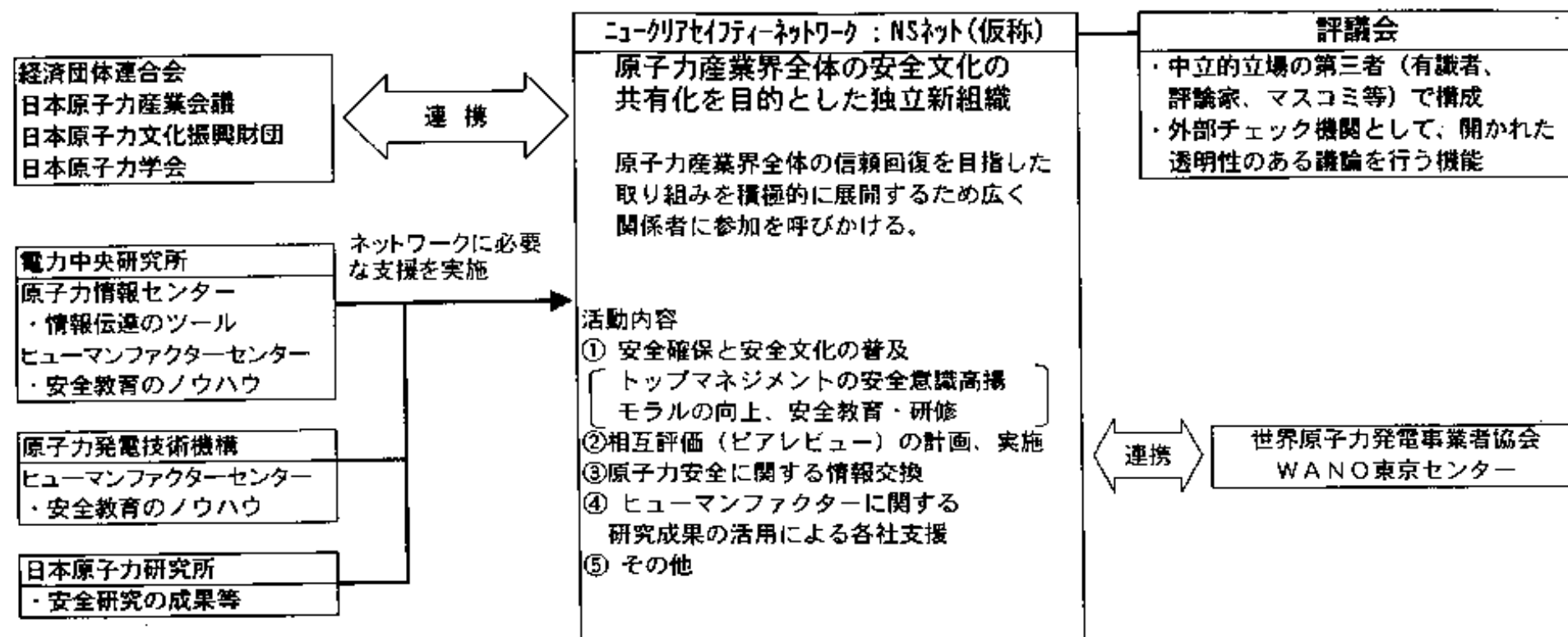
5. 評議会の設置

外部チェック機関として、中立的な立場の第三者で構成される評議会を設け、NSネットの業務活動について評価、チェックを行う。有識者、評論家、マスコミ等から5～6名程度で構成。

6. 設立総会

1999年12月に開催予定

ニュークリアセーフティネットワークのイメージ



設立時の会員（予定）

（電力）	（燃料加工関係）	（プラントメーカー関係）	（研究機関）
電事連（電力9社）	原子燃料工業	東芝	核燃料サイクル開発機構
日本原子力発電	三菱原子燃料	日立製作所	電力中央研究所
電源開発	日本ニュークリア・フューエル	三菱重工業	日本原子力研究所
日本原燃	三菱マテリアル	三菱電機	
原燃輸送	住友金属鉱山	石川島播磨重工業	
レザ-濃縮技術研究組合	ジー・シー・オー	富士電機	
		住友原子力工業	